

2017年12月1日

副学長 野沢 慎司

「2016年度 明治学院大学外部評価委員会の提言」および
「2016年度外部評価委員会の提言について（回答）」の公表にあたって

明治学院大学では、自己点検・評価の妥当性と客観性を高めるため、高い見識を有し、本学の設置目的に理解のある学識経験者等で構成する外部評価委員会を2008年度より設置しており、2016年度は9回目の外部評価委員会として2016年12月2日に開催しました。

現在、本学では、2015年度の大学評価結果や中教審答申等による外部環境の変化に応じるべく、本格的な教学改革に向け、各分野において様々な調査や準備をすすめております。その中でも「最重要」と位置付けているのが教養教育に関する見直しです。そこで、2016年度の外部評価委員会では、「教養教育の在り方」をテーマに、現在の本学の教養教育について点検と評価をいただきました。

当日は活発な議論が行われたほか、委員の先生方の本務校の事例を始め、一般社会・高校・企業が大学に望む「教養教育像」について委員の先生方からのご意見をうかがう機会を得ることが出来ました。

この度公開いたしました「2016年度明治学院大学外部評価委員会の提言」は、議論の結果を大野高裕委員長（早稲田大学理事・同理工学術院教授）が提言として取りまとめ、本学に提出されたものです。また、提言の文中に提示されております数々の指摘については、学長の下、大学執行部会議や学部長会等の場において議論を重ね、その結果を「2016年度外部評価委員会の提言について（回答）」としてまとめました。

回答に記しました内容について、できるだけ早い時期の改善・実現に至るよう努めてまいります。学内外の関係者の皆様にもご承知おきいただければ幸いです。

以上